

## 授業力ブラッシュアップ<sup>®</sup>研修会Ⅰ・Ⅱ

今年度の授業力ブラッシュアップ研修会は、学習指導要領の改訂を踏まえ、授業改善の視点として示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業はどうあればよいかをテーマに提案授業・講義・演習を実施しました。今回は、10月に実施した小学校生活科と11月に実施した中学校家庭科の研修会の様子を紹介いたします。

### 小学校 生活

子どもが主体的に関わり、気づきの質を高める生活科の指導の在り方

#### (1)提案授業

「たのしいあきいっぱい」第1学年

授業者：一関市立赤荻小学校 教諭 赤木 香子

助言者：県南教育事務所 主任指導主事 千田 有美

★児童が主体的に対象と関わり、一人一人の思いや願いを実現しようとする授業展開の在り方

対象となる「秋を感じさせる自然物や遊び」は、春や夏にも関わったものであり、児童は、繰り返しの活動としての安心感、期待感をもち、思いを膨らませて学習活動に没頭していた。児童の思いや願いを引き出して単元をスタートし、本時では、活動の見通しをもたせ、十分に活動時間を確保したことや教師が見守る姿勢を貫いたこともその姿につながっていた。



★ものや人との関わりを繰り返したり、友達と交流したりすることで気づきの質を高める授業展開の在り方

自分が作りたいおもちゃにするために、使う材料、仕組み、遊び方等を試行錯誤していた。児童は、初めは個々でつぶやきながら活動していたが、自分の思いが実現したり、不思議さや面白さを発見したりすると自然と友達に話し始めた。教師は、その様子を見取りながら「どうしてそうしたのか」「どのように遊ぶのか」等働きかけ、無自覚の自覚化を図ったり、改善点への見通しをもたせたりした。

また、活動の振り返りを言語化させ、さらに、自分が思いの実現のために何を、どうなったかを自覚することにつながることができた。

(2)講義 講師：県南教育事務所 主任指導主事 千田有美

#### 1 思いや願いを大切に単元の構想について

ねらいに関わるもの・ひと・こととの出会い(導入)を大切に、児童の興味関心を高めたい。既習・既知かどうか幼児期の経験を情報収集し、準備することも大切である。

児童の思いや願いは学習を積み重ねながら変化していく。活動の仕方や出来栄よりも思いの実現のために試行錯誤していく姿を評価し、ねらいの達成へと導いていくためにも、単元の構想は、児童の思考を想定して組立てていく必要がある。

#### 2 気づきの質を高める指導の在り方

体験活動と表現活動とが繰り返されることで児童の学びの質が高まっていく。直接体験を十分にさせながら、気付いたことを伝えたり、交流したり、振り返って捉え直したりして表現することも大切である。単元や単位時間のどこに表現活動を位置付けるかも考えていきたい。

### 中学校 家庭

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する生徒の育成

#### (1)提案授業

「家族・家庭や地域との関わり」第3学年

授業者：一関市立藤沢中学校 教諭 三戸 己奈子

助言者：岩手県総合教育センター

主任研修指導主事 千田 満代

★新学習指導要領 新設内容「A 家族・家庭生活」の高齢者とのかかわり方の一例としての授業提案

<内容を焦点化して>

本内容は「高齢者の身体の特徴について触れること」「高齢者の介護の基礎に関する体験的な活動ができるように留意すること」と学習指導要領に示されており、高等学校での高齢者の介護の学習にもつながる内容である。高齢者の身体的特徴は様々あり、それぞれに合わせた関わり方がある。提案授業では、その中でも「聴覚」に特化し、一つの事例について実感・体験・思考させ、高齢者とのかかわり方について学習を深めることができた。生徒にとって、見えなかったものが見えた授業であった。

<実践にいかせる学習活動>

保険会社のHP、インタビュー動画、イヤーマフを装着しての会話等により高齢者の状況を生徒が実感しながら思考する学習活動を位置付けた。生徒は、一連の活動を通して、両者の思いに考えをめぐらせ、高齢者との関わり方を考え、これまでの関わり方を振り返ることもつながった。

(2)講義 講師：岩手県総合教育センター

主任研修指導主事 千田満代

1 学習指導要領の新設の具体と資質・能力の明確化について  
社会の変化に対応し、学習指導要領が見直された。今回の「A 家族・家庭生活」の高齢者との関わりについては、高齢者の身体の特徴を理解できる教材により、よりよい関わり方をめざす課題解決学習の流れの授業であった。本授業で習得した知識及び技能を踏まえ、次時計画されている「地域との関わり」において、思考力、判断力、表現力等の育成をめざす授業へとつなげてほしい。

#### 2 令和3年度全面実施に向けた年間計画作成の進め方

新学習指導要領実施は、令和3年度には全面実施となるが、その時3年生となる今年度の1年生がどの時点で何を学ぶのか3年間を見通した指導計画の作成をする必要がある。新設内容を年計のどこに位置付けるか、題材構成を考えながら検討したい。